

■部会便り

制度部会 2006年度の反省と2007年度への期待

日本風力発電協会 理事 2006年度制度部会長 **阿部 康浩**

川崎重工業株式会社

はじめに

(前回の協会誌と同じ書き出しですが!) 時間のたつのは(特に年齢を重ねると)早いもので2006年も(原稿執筆の時点で)あっという間に終わってしまいました。

前回の部会便りでは、「会員の皆さんのお仕事に役立つ情報を発信していければ…と思っていますが……乞うご期待。」と書いたものの、結局掛け声倒れに終わってしまいました。

これもひとえに部会長の不徳の致すところ です。どうかお許し下さい。

2006年度の活動内容

2006年度は5回の制度部会を開催致しました。

メインテーマ

2006度のメインテーマは「排出権」でした。部会においては排出権市場の現状と問題点の整理、国内大手電力会社の対応状況の調査を行いました。

サブテーマ

メインテーマの他に、サブテーマとして、「風力発電事業に関わる税制」と「規制緩和」をサブテーマ(自主テーマ)と設定しましたが、残念ながら進捗しませんでした。

RPS

2006年度は2014年度のRPS目標量を設定する年でした。

前回の協会誌に掲載されておりますが、森代表理事が、総合資源エネルギー調査会新エネルギー部会RPS小委員会において、11月29日に風力発電の有識者としてプレゼンテーションを行いました。

皆さんのご参加を

制度部会では、幅広い業種の方々にご参加戴き、議論を深めていきたいと考えております。

いつでもメンバーの募集を行っておりますので、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

また、それとともに会員の皆さんが研究を行いたいテーマの募集、制度部会ではこういうことをすべき、というご意見も募集しています。

メンバー募集とあわせて、どうぞご意見をお寄せ下さい。

おわりに

2006年度の部会長は、誠に頼りない部会長で大変ご迷惑をおかけしました。

この原稿を執筆している段階では2007年度の部会長は決まっておりますが、新しい体制の中で制度部会への幅広いご参加とご支援をお願い申し上げます。

